

「災害時において作業船を用いて行う支援協力に関する協定」を締結します

昨年（令和4年）11月、株式会社^{しらかい}白海が最新鋭の作業船「クラブしゅんせつ船」を建造しました。

このしゅんせつ船を災害時に活用してほしいと株式会社白海からご提案をいただいたことから、以下のとおり協定を締結することとなりましたのでお知らせいたします。

1 日 時 令和5年2月16日（木）11：20から（30分程度）

2 場 所 北九州市本庁舎 5階 プレゼンテーションルーム

3 出席予定者 北九州市長 北橋 健治

株式会社^{しらかい}白海 会 長 ^{うえの}上野 ^{よしふみ}世志史
代表取締役 ^{いしばし}石橋 ^{けい}敬

- 4 次 第
- ① 北橋市長からの挨拶と協定締結の説明
 - ② 上野会長からの挨拶と取組内容の説明
 - ③ 協定書署名（北橋市長・石橋代表取締役）
 - ④ 写真撮影
 - ⑤ 質疑応答

5 協定の概要

北九州市内で地震等の大規模災害が発生した場合において、しゅんせつ工事に使用する作業船「クラブしゅんせつ船」を活用して、陸上からの交通が遮断されているような被災地への海からの支援物資の輸送、被災された方への給水、食事の提供、入浴支援などを行うほか、ボランティア等の待機場所、宿泊場所など応急対応活動の拠点として活用することを主な目的とする。

なお、作業船を作業船本来の用途以外に、災害時における給水、食事の提供、入浴支援等に活用する支援協定は、本市では初めてであり、他自治体での事例も承知していない。



※ 対象となる作業船「クラブしゅんせつ船 APOLLO18」の概要については、別添「パンフレット」をご参照ください。

問い合わせ先

北九州市 港湾空港局 整備課

電話 093 321-5975

担当 (課長) ^{せいとく}政徳、(係長) ^{あさい}浅井

APOLLO18

1969年 7月 21日 「アポロ11号」人類初の月面着陸成功

1969年 8月 7日 「アポロチョコレート」誕生

1972年12月 19日 「アポロ17号」を最後に計画中断

1999年 9月 8日 ポルノグラフィティ楽曲「アポロ」発表

そして

2022年11月22日

「アポロ18号」出航



しらかい
시라카이

白海

SHIRAKAI

PRESENTED BY

POINT
1

ウクライナに 想いをはせて

カーテンやカーペットにウクライナ国旗のカラーを採用しました。



カーペット



カーテン

POINT
2

海上シェルター

災害などの緊急時に避難所として活用できます。

本船から陸上への電力供給も可能です。



浴室

- 30名分の寝具
- 洗面所 4か所
- 就寝スペースを確保
- トイレ 6か所
- 飲料水 (240t)の提供
- 洗濯機 5台
- 温かい食事の提供
- 乾燥機 6台
- 浴室・シャワー 5か所
- 給水ステーション (990t)

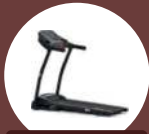


3F キャビン就寝スペース

POINT
3

船上でもリフレッシュできる充実の設備です。

レクリエーション設備



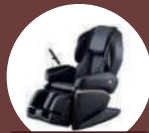
ランニングマシン



トレーニングマシン



ビリヤード



マッサージチェア



ダーツ



卓球



カラオケ



シアタールーム

POINT
4

ホツとする空間を大切に

女性専用パウダールーム

2Fキャビンにひととききれいなピンクでまとめました。女性のがんばりを応援します。

- 壁掛けトイレ
- 浴室
- 三面鏡付き洗面化粧台
- 乾燥機付き洗濯機
- 冷蔵庫

広い船員室 10部屋

業界最大クラス・平均14.5㎡のスペースは一般的な広さ(8㎡)の1.8倍です。光が差し込む窓に加え、大容量の収納スペースなど、快適に過ごせる室内となっています。

- 冷暖房完備
- Wi-Fi設備完備



POINT
5

ピンクの浚渫船は世界初？

APOLLO18 SPEC

クレーン		SKK社製
型式	SKK-30030GDT-K型	
直巻能力	110tf	
グラブバケット	幅広(ワイド)	30m/56t
	普通盤用	20m/59t
	硬土盤用	10m/90t
	砕岩棒	50t
巻上速度	0~60m/min(トルクコンバータ単独時)	
巻下速度	0~80m/min(標準型グラブバケット使用時)	
	0~55m/min(重量型グラブバケット使用時)	
浚渫深度	水面下60m(全揚程66m)	
水平掘装置	ディスクブレーキ制御(1cm制御)	
主巻・最大定格総荷重	80tf×25.4m	
作業半径	16.4m~32.1m(ジブ角度30°~70°)	
最大揚程	水面上25.9m	
補巻・定格総荷重	9.4tf	
ジブ長さ	30m	
原動機	㈱IHI原動機 6L28HLX 2,206kW/750rpm (IMO NOx 二次規制対策型)	
巻上制御	オメガクラッチ電子制御	
巻下制御	トルクコンバータブレーキ制御	
動力伝達方式	トルクコンバータブレーキおよび油圧装置	
旋回速度	0~1.2rpm	
起伏ロープ速度	0~72m/min	

船体		富士海事工業社製
主要寸法L×B×D	60.0m×25.0m×4.0m	
総トン数	1,916t	
電力設備	主発電機	610kVA×220V×60Hz (IMO NOx 二次規制対策型) 2基
	補助発電機	125kVA×220V×60Hz 1基 陸上第二次排出ガス対策型
	ハイブリット蓄電システム	100kVA 200kWh 1基
スラスタ装置	ポンプジェット式スラスタ	SPJ57N n Abt.19.6kN(2.0tf) 2基 (IMO NOx 二次規制対策型)
スパッド装置	キック式ピンローラージャックアップ装置	1.5m□×40m 1基
	固定式ピンローラージャックアップ装置	1.5m□×38m 2基
操船ウインチ・ウインドラス (電動油圧式)	チェーンドラム	40/20tf×9/18m/min 4基
	ワイヤドラム	20/10tf×12/24m/min 4基
雑用ウインチ (電動油圧式)	ワイヤドラム	5/2.5tf×10/20m/min 2基
居室	平均14.5㎡	10室
ノッチ	11.3m×4.3m	12tfクロスピット

先進システム (ICT・DX技術)

浚渫施工管理	浚渫施工管理システム(FURUNO社製) [NETIS KKK-140004-VE] ○ 施工管理システム: 船位、バケット位置の深度、設計深度、海底地盤高を色分け表示 ○ Plus3D: 海中の浚渫現場を3Dアニメーション化 ○ 海底地形探知ソナー施工管理システム: 掘削箇所のリアルタイム深度をディスプレイ
自動運転	自動浚渫システム 自動水平掘システムバケットモニター(SKK社製) バケット刃先深度・水平度・爪先軌跡ディスプレイ
潮流管理	自動潮流管理システム(自社開発) オンラインリアルタイム潮流データ取得 浚渫計画グラフディスプレイ、アラート
潮位管理	自動潮位管理システム(自社開発) ナウファスリアルタイム潮位データを浚渫施工管理システムへ自動入力
出来形管理	自動出来形測量 本船に測量ナローマルチビームソナー 装備 NORdredge iSTX360(NORBIT社製) 掘削掘進しながら自動測量 自動リモート遠隔管理システム オンラインでいつでも、どこでも、だれでも可能
衝突予防	アルバレーダーシステム(日本無線社製) 将来船位ディスプレイ、アラート
環境保全	グラブ水切り位置監視システム(自社開発) 高さ管理、アラート
	グラブ旋回軌跡可視化システム(自社開発) 枠カーテン遠隔一元操作システム(自社開発) 24.5kf・6m/min

白海の新技術

技術名称	NETIS登録番号	特許取得
浚渫作業用汚濁防止枠	QSK-110003-VE	特許第4564591号
土運船運航監視システム	QSK-110002-VE	特許第4350797号
環境配慮型浚渫工法	QSK-170001-A	特許第5627764号
航行船舶監視システムKS2	QSK-180001-A	
運航支援システム	QSK-190002-A	
可航幅監視システム	QSK-190004-A	
作業員位置監視システム「W・M・S」 (Worker・Management・System)	QSK-190007-A	
バケット作業安全確認システム「バケットストップ」	QSK-220001-A	



馬力	1,019PS×2基	深さ	1.65m
長さ	14.00m	総トン数	19t
全幅	6.28m	揚錨能力	15tf
推進装置	ベッカーラダー(フラップ付舵)		



海・陸土木 しゅんせつ しらかい
株式会社 白海
 (本社) 〒808-0021
 北九州市若松区響町3丁目1番33号



TEL 093-751-0350
 FAX 093-751-0837
 URL <https://shirakai.jp>



白海HPはコチラ